

教 科	国語	単位数	4	学 科	健康 スポーツ科	学 年	1	全 選	全
科 目	国語総合								
使用教科書	改訂版高等学校標準国語総合（第一学習社）								
副 教 材 等	確かめやすい漢字の総仕上げ（浜島書店）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めます。 2 思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨きます。 3 言語文化に対する関心を深め、現代の文章や古典を読み、書物に親しむ態度を身につけます。
評 価 方 法	1 中間考査と期末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が70%、漢字テストの成績が10%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。
生徒へのアドバイス	「国語総合」は新しい科目で、様々な形態の学習活動を行い、1年間の学習をとおして学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。 また、毎時間、国語便覧や辞書（国語辞典、古語辞典）を必ず用意しておいてください。 評価については、上で説明したように様々な観点から行います。普段の授業の1時間1時間を大切にしてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 進んで自分の意見や考えが表現できているか。 2 言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書しようとしたりしているか。 3 分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
話す・聞く能力	1 自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立てて話すことができるか。 2 相手のことを考えて、分かりやすく話すことができるか。 3 相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができるか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
書く能力	1 自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道立てて適切に文章を書くことができるか。 2 相手や目的に応じた適切な文章表現ができているか。	1 プリント 2 作文 3 定期考査 4 ノート
読む能力	1 目的に応じて様々な文章を的確に読み取ることができるか。 2 積極的に読書に親しんでいるか。	1 プリント 2 定期考査 3 ノート
知識・理解	1 音声、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けているか。 2 古典の時代背景や文化等を正確に理解しているか。	1 プリント 2 定期考査 3 漢字テスト 4 ノート

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 「書きたい気持ちを大切にしたい」 「自立と依存」	・話をよく聞き取る能力や態度を身に付けます。 ・論理的な文章を読み、その構成や論旨を的確にとらえながら筆者の思考を読み取ります。
		5	2 「羅生門」	・文章中の人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、自分の生き方と照らし合わせて考えます。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
	期 末	5	1 古文入門 「児のそら寝」 （『宇治拾遺物語』）	・文語文法の基礎的なことがらを身に付けます。 ・音読を繰り返し、古文の読みに慣れます。
		6	「絵仏師良秀」 （『宇治拾遺物語』）	・古文に対する親近感を持ち、昔の人のものの見方、考え方を味わいます。
		7	2 「毎月新聞」	・筆者のものの見方や考え方を文章の流れに沿って的確に読み取ります。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
	2 学期	中 間	9	1 「水の東西」
10			2 漢文入門 「格言」「故事成語」 「唐詩」「論語」	・漢文に対して親近感を持つことができるようになります。 ・漢文訓読の基本事項を身に付けます。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
期 末		10	1 「イースター島になぜ森がないのか」	・論理展開を正確に把握し、筆者独特の着眼点や洞察力によって述べられる思考内容を的確に読み取ります。
		11	2 「詩歌」	・詩独特の表現をとおして作者の感じ方や考え方を理解し、詩の読解に対する積極的な姿勢を養います。
		12	3 「竹取物語」「伊勢物語」 「徒然草」	・古文に対する親近感を持ち、昔の人のものの見方、考え方を味わいます。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
3 学 年 末		学 年 末	1	1 「夢十夜」
	2		2 和歌 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	・短編小説の特色を理解し、人物の性格・心理・行動などを多角的に読み取ります。 ・和歌の修辞法を理解し、歌われている情景や心情を的確にとらえます。
	3			・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
課題提出物等	1 授業の中で使用するプリントや作文など 2 ノート 3 夏休みの読書感想文 4 夏休みの課題（テキスト）			

教 科	地理歴史	単位 数	3	学 科	健康スポ ーツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	地理A								
使用教科書	高等学校 改訂版 地理A 世界の暮らしを学ぶ（第一学習社）								
副 教 材 等	トレーニング地理（東京学習出版社） 地図（帝国書院）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 教材の内容及び用語の理解と習得を目指します。 2 地理的な理解方法と問題解決方法を身につけます。 3 上記1・2によって得られた知識・技能・思考方法の発展的応用を目指します。
評 価 方 法	考査評価を70％，ノート・地理ワーク等の提出物を30％で評価します。
生徒へのアドバイス	1 常に真剣に，まじめな態度で授業に臨んでください。 2 板書事項は欠かさずノートに写し，地理ワーク・課題プリント等の作業は必ず自分の力で行ってください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 現代世界の地理的事象について意欲・関心を持って学ぶことができたか。 2 国際社会に向けて主体的に行動できる態度を身に付けたか。	1 学習活動への参加の仕方や態度 2 『トレーニング地理』 3 作業プリント
思考・判断	1 現代世界に起こる事象を地理的事象と関連付けて思考・判断することができたか。	1 定期考査 2 『トレーニング地理』 3 発表の内容や仕方
資料活用の技能・表現	1 地理的事象を追求するのに必要な資料を活用できる技能を身に付けたか。 2 学習で身に付けた事柄を適切に表現できる能力を身に付けたか。	1 定期考査 2 『トレーニング地理』 3 作業プリント
知識・理解	1 現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し，知識を身に付けることができたか。	1 定期考査 2 『トレーニング地理』 3 作業プリント

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	第Ⅰ章 現代世界の特色 第1節 球面上の世界と地域構成 [1]地球上での生活 [2]地球規模からみた世界 [3]世界的視野から見た日本の位置と領域	・球面上の世界から様々な世界地図をイメージします。 ・地図の種類と用途に応じた利用の仕方を工夫します。 ・国家の領域—北方4島の領有の推移
		5	第2節 結びつく現代世界 [1]交通・通信の発達により一体化する世界 [2]交通の発達により交流する世界 [3]世界の貿易 [4]国家間の結合	・地図図法を変えて地球を眺めてみます。 ・様々なメディアを通じて結びつく世界 ・労働力の移動—外国人労働者の発生 ・移民・難民とは何かを考えます。 ・国家間の物の流れ ・地域間の結合の深まり
	期末	5	第3節 多様性を増す人間行動と現代世界 [1]経済発展と消費・余暇活動 [2]人間活動を知る身近な情報	・南北問題の現状 ・国内にみる消費行動 ・余暇や豊かさについて考えます。
		6	第4節 身近な地域の国際化の進展 [1]身近にみられる国際化 [2]日本と世界との交流	・リゾート開発の意味そしてその後 ・身近な国際化 ・日本に住む外国人と外国に住む日本人
7				
2 学期	中間	9	第Ⅱ章 地域性から見た現代世界の課題 第1節 生活・文化と環境 [1]人々をとりまく地形 [2]人々をとりまく気候 [3]世界の民族と文化	・大地形—地震と火山の分布、プレートテクトニクス ・人間の生活舞台としての平野 ・地球上の気候の位置とそれぞれの生活 ・文化・人種・宗教と民族
		10	[4]アメリカの生活文化と環境 [5]西アジア・北アフリカの生活・文化	・アングロアメリカとラテンアメリカ ・イスラム教が支配する世界
	期末	10	[6]EUの生活・文化と環境 [7]オーストラリアの生活・文化と環境	・ヨーロッパの統合<EU> ・自然と先住民族そして白豪主義
		11	第2節 近隣諸国の生活・文化と日本 [1]近隣諸国の学習 [2]韓国の生活・文化と日本 [3]中国の生活・文化と日本	・東アジアと東南アジアの概念 ・韓国の地誌概観 ・中国の地誌概観
12		[4]ロシアの生活・文化と日本	・ロシアの地誌概観	
3 学期	学 年 末	1	第3節 諸地域からみた地球的課題 [1]地域的課題の出現と地域性 [2]人口問題 [3]居住・都市問題	・地球的視野と地域的視野 ・人口問題の基礎 ・都市とは—都市問題と都市政策
		2	[4]食料問題 [5]資源・エネルギー問題 [6]環境問題	・食料生産と分配のアンバランス ・資源の分布・消費のアンバランス ・グローバルな問題—環境汚染の実態
		3	[7]相互に関連する地球的課題	・国際協力と日本の役割
課題提出物等		1	授業中の板書事項のノート提出	
		2	『トレーニング地理』の提出	
		3	授業中使用する作業プリントの提出	

教 科	数学	単 位 数	2	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 選	全
科 目	数学Ⅰ								
使用教科書	新高校数学Ⅰ（実教出版）								
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	数と式、方程式と不等式について理解し、基礎的な知識を身につけさせるとともに、問題を表現・処理する技能を習熟します。また、身に付けた知識や技能を的確に活用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
評 価 方 法	1 中間考查、期末考查、小テスト、プリント及び課題、授業態度、出席状況、その他などで評価します。 2 学期及び学年の評価は、原則として中間考查と期末考查の成績で70%、その他の項目で30%の配分で評価します。
生徒へのアドバイス	・学習内容全般において数学の基礎的な知識の習得と習熟を図りますが、その内容が2・3年生に継続していく大切な教科です。 ・ノートは、単に板書を写すだけでなく、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。 ・例題等を参考とし積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・数の体系を拡張することに興味を持っているか。 ・式の計算を通して、式の見方を豊かにし、1次不等式や2次方程式を活用できているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業で使用するプリント ・授業ノートの整理 ・問題演習への取り組み
数学的な見方や考え方	・数の体系を拡張することの意義を理解しているか。 ・式を目的に応じて変形したり置き換えをする意味を理解しているか。 ・方程式、不等式の解の意味と違いを認識しているか。	・定期考查、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
表 現・処 理	・式を目的に応じて変形したり置き換えをすることができるか。 ・1次不等式、2次方程式の解を求めることができる。	・定期考查、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
知 識・理 解	・数の概念について理解を深めているか。 ・不等式の性質を基にして、1次不等式の解を求められるか。 ・2次方程式についての理解を深め、解の公式を用いて2次方程式の解を求められるか。	・定期考查、小テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	1章 数と式 1節 整式 1. 文字式のきまり	・ 整式の加法・減法・乗法、及び因数分解を扱い、公式などを利用して能率よく計算できることなどを理解し、式の見方を豊かにします。
		5	2. 整式 3. 整式の加法・減法	
	期 末	5	4. 整式の乗法	
		6	5. 乗法公式による展開	
		7	6. 因数分解	
2 学 期	中 間	9	2節 実数 1. 実数	・ 数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や無理数の計算の基本的な考え方について理解を深めます。 ・ 方程式の意味や解法について学びます。 ・ 2次方程式の解法について習熟させ解の公式を利用して2次方程式を解けるようにします。
		10	2. 平方根とその計算	
	期 末	10	2章 方程式と不等式 1節 方程式 1. 1次方程式	
		11	2. 2次方程式	
		12	3. 2次方程式の解の公式	
3 学 期	学 年 末	1	2節 不等式 1. 不等式	・ 不等式の性質や解の意味を理解し、1次不等式を解くことができるようにします。また、それを具体的な事象の考察に活用できるようにします。
		2	2. 不等式の性質	
		3	3. 1次不等式	
課題提出物等	① 春季休業中及び夏季休業中の課題。 ② 必要に応じてノート及び授業中に使用したプリント等。			

教 科	理科	単 位 数	2	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	生物 I								
使用教科書		新編 生物 I（東京書籍）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 広い視野から多種多様な生物とその生物現象に興味・関心を持ち、そこから新たな疑問点を見出すことで生物についての理解を一層深めます。 2 観察，実験を通して探求する能力と科学的な自然観を身に付けます。 3 基本的な概念や原理・法則を理解します。
評 価 方 法	中間と期末の定期考查の成績で70%，課題，実験レポート，授業ノート，プリント等の提出物，その他，授業への取り組みを含めて30%の配分で総合的に判断して行います。
生徒へのアドバイス	・1回ごとの授業を大切にし，授業を通して，生物についての科学的な見方や考え方ができるように自分の学習目標を設定しましょう。 ・教師の発問には積極的に答えてください。 ・不明な点や疑問があったら質問や意見を出してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・自然の事物・現象に関心を持ち，意欲的に授業に参加し取り組んでいるか。 ・教師の発問に対して，意欲的に答えているか。 ・授業態度は良好か。	・授業への参加の仕方や態度 ・ノート，プリント，レポートの内容及び提出状況 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況
思考・判断	・自然界の現象に関して，様々な観点から考察を加え，論理的に考えることができるか。 ・客観的な事実に基づいて生物現象を科学的に判断することができるか。	・定期考查の記述式問題。 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方
観察・実験の技能・表現	・観察，実験の方法や実験器具の操作を理解して正しく行う能力を身につけたか。 ・自然界の生物現象について科学的に探究する方法を身につけたか。 ・実験，観察の結果を的確に表現することができるか。	・定期考查での観察，実験に関する問題 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方 ・実験器具の操作や方法
知識・理解	・自然の事物・現象における原理 ・法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか。 ・観察，実験の目的や実験の原理などを理解しているか。	・定期考查 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況 ・レポートの内容

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 細胞から個体へ (1) 細胞のはたらきと構造	生物のからだは細胞からできていること、及び細胞のはたらきと構造について理解します。 細胞における物質の出入りは、細胞膜を通して行われ、化学反応は酵素のはたらきであることを理解します。
		5		
	期 末	5	(2) 細胞分裂	染色体に遺伝情報があり、生物の種類によって染色体の形状と数が異なることを理解します。
		6	(3) 生物のからだと細胞	体細胞分裂の仕組みについて、及び細胞が特定のはたらきをもつように変化する分化について理解します。
		7		単細胞生物、多細胞生物の存在、及び組織、器官といった様々な細胞の集まりがあることを理解します。
2 学期	中 間	9	2 遺伝 (1) メンデルの実験と遺伝の法則	優性の法則、分離の法則を一遺伝子雑種、二遺伝子雑種を通して理解します。 いろいろな様式の遺伝があるが基本的にはメンデルの法則従うことを理解します。
		10		
	期 末	10	(2) 連鎖と染色体地図 (3) 性と遺伝 (4) 遺伝子の本体	連鎖、組換え、染色体地図及び性の決定と伴性遺伝について理解します。 遺伝子の本体及びその構造を過去の実験例等から考察し、DNAであることを理解します。
		11		
		12		
3 学 期	学 年 末	1	3 生殖と発生 (1) 生殖	無性生殖と有性生殖の違いと、減数分裂の仕組みについて理解します。
		2	(2) 動物の発生としくみ	配偶子の形成と受精、及び初期発生について観察を通して理解し、発生のしくみについて考察します。
		3	(3) 発生のしくみ	
課題提出物等 ・授業プリント ・授業ノート ・問題集 ・実験 ・観察レポート				

教 科	保健体育		単位 数	1	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	保健									
使用教科書		現代保健体育（大修館）								
副 教 材 等		現代保健ノート（大修館）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。
評 価 方 法	考査の成績や提出物、出席状況、授業への取り組み等を考慮して評価します。
生徒へのアドバイス	自らが健康な生活を実践したり、心の健康にも配慮したりする等、日常生活の中で健康を意識し、欠席・遅刻・早退等をしないですむようにしてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む	授業への参加意欲の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	個人生活や社会生活における健康・安全について課題の解決を目指して考え、判断している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト
知識・理解	個人生活や社会生活における健康・安全について課題解決のための事項を理解し知識を身に付けている	授業での態度の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	1 単元：現代社会と健康 1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方	健康水準と疾病の変遷を理解します。 健康の側面や成立条件を理解します。
		5	3 さまざまな保健活動や対策 4 生活習慣病と日常の生活行動 5 喫煙と健康	行政・民間・国際機関の諸活動を理解します。 生活習慣病とその予防法を理解します。 喫煙の健康影響とその対策を理解します。
		5	6 飲酒と健康	飲酒の健康影響とその対策を理解します。
	期末	6	7 薬物乱用と健康 8 医薬品と健康	薬物乱用の健康影響とその対策を理解します。 医薬品の役割と使用上のポイントを あげられるようにします。
		7	評価	学期末考査
		7		
2 学期	中間	9	9 感染症とその予防 10 エイズとその予防 11 健康にかかわる意志決定	新たな感染症の防止策を理解します。 エイズの現状と性感染症予防を理解します。 意志決定・行動選択の要因を理解します。
		10	12 意志決定・行動選択に必要なもの 13 欲求と適応機制	意志決定・行動選択に必要なこと具体例で説明できる ようにします。 欲求の種類を知り、適応機制の例を説明できる ようにします。
		10	14 心身の相関とストレス 15 ストレスへの対処	心身相関とストレスを理解します。 ストレスへの対処法を理解します。
	期末	11	16 自己実現 17 交通事故の現状と要因 18 交通社会における運転者の資質と責任	自己実現を知り、自分の自己実現を考ます。 交通事故の現状と要因を理解します。 安全運転への資質と事故の補償を理解します。
		12	評価	学期末考査
		12		
3 学期	学 年 末	1	19 安全な交通社会づくり 20 応急手当の意義とその基本	法的な整備、施設・設備等を理解します。 意義と手順を理解します。
		2	21 心肺蘇生法 22 日常的な応急手当	原理・手順を理解し実践できるようにします。 手順・方法を理解し実践できるようにします。
		3	評価	学年末考査
課題提出物等	各種レポート			

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	選
科 目	音楽Ⅰ								
使用教科書		音楽Ⅰ改訂版T u u t i（教育出版）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取りくむ態度を身につけます。 2 歌唱や器楽演奏を通して、表現する能力を養います。 3 様々なジャンルの音楽について、その歴史的・文化的な意味と価値を理解し、音楽を愛好する心情を育てます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70%、学習活動への参加の仕方や態度を30%として行います。
生徒へのアドバイス	1 毎時間授業に真剣に取り組むこと。 2 出来ることも大切ですが、音楽が好きなこと、また何事も一生懸命真剣に取り組むやる気の姿勢はもっと大切なことです。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 音楽上の幅広いジャンルに興味関心を高めているか。 2 意欲的に楽曲演奏に取り組んでいるか。	・音楽活動への参加の仕方や態度 ・授業のノート評価、プリント評価
芸術的な感受や表現の工夫	1 楽曲、音楽ジャンルの特質を良く自覚し、でそれが生み出す曲想や美しさを感じ取って、表現の工夫をしているか。	・実技テストの内容・評価 ・授業時における表現方法 ・鑑賞ノートの内容・評価
創造的な表現の技能	1 楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する力を身につけているか。 2 楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取って表現する技能を身につけているか。	・独創性・個性を実技テストで評価 ・授業時における表現方法
鑑賞の能力	1 鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解し聞き取っているか。 2 音楽の文化的背景を理解し聞き取っているか。	・感想文の表現方法や内容 ・提出プリントの内容 ・鑑賞時の聞く態度

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	・授業ガイダンス ・＜校歌＞の表現 ・翼をください・上を向いて歩こう	・声を出すことの喜び、歌うことの楽しさを身につけ発声の基本を学びます。
		5	・ ミュージカルナンバーより ・ 天使にラブソングより ・ ピノキオより	・ 曲の内容を理解し表現につなげます。多少難しいリズムも曲調に合わせれば難なく歌えます
	期 末	5	・ ＜校歌＞歌詞テスト ・ 喜びの歌（ドイツ語） ・ 我が、太陽	・ 高校生になって新しい言語に触れます。また音楽言語に必要な巻き舌やイントネーションを学びます。
		6	・ We will rock you ・ Happy birthday to you	・ 耳慣れた曲をコーラスとして演奏し、音楽も持つハーモニー感を自然に習得します。
		7	・ 歌唱テスト ・ 既習曲に難易度をつけ、その中から生徒が1曲選び演奏します。	・ 自分の好みや声の音域にあった歌を選んでいるか。曲想の表現に工夫があるか。
2 学期	中 間	9	・ ＜ミュージックベル＞演奏 ・ 世界に一つだけの花（2部）	・ 楽器を丁寧に扱うよう指導します。 ・ ベルを演奏することで自分のリズムだけではなく他の音にも神経を働かせ、演奏の喜びを味わいます。
		10	・ ギター・キーボードよりどちらかを選択し演奏します。楽器の扱い方・基本奏法 ・ 姿勢等を学びます。	・ 楽器は常に丁寧に準備から後かたづけまで責任を持ってするように指導します。 ・ 楽器の基礎を学びます
	期 末	10	・ ギターグレード進行 ①音階チェック②c－g－c③ロンドン橋④一週間⑤禁じられた遊び	・ 生徒によっては独学でやっている人もいますが、変な癖があればなるべく早めに取り、確かな奏法を学びます。
		11	・ キーボードグレード進行 ①ダイアナ片手②ダイアナ両手③オブラディ・オブラディ片手④オブラディ・オブラダ両手⑤フラッシュダンス	・ 必ずリズムをつけて練習し、自分なりのリズム感を正確なリズムに直し、その上で音楽の楽しさを味わいます。
		12	・ 楽器テスト（ギター、キーボードのどちらか）各自選択	・ 各自がどれだけ出来るようになったか絶対評価で点数をつけます。 ・ 各自工夫や独創性があるか評価します。
3 学期	学 年 末	1	・ カーロ・ミオ・ベン（イタリア歌曲） ・ ウスキュダラ（トルコ民謡） ・ アリラン（朝鮮半島）	・ 各国の歌に表現された文化的な特徴や地勢的な背景を学習します。
		2	・ オーケストラの楽器、及び成立について ・ 島へ・早春賦・この道	・ 楽器群の種別・楽器の特徴を知ります。また時代によりオーケストラの変遷も学びます ・ 日本歌曲に親しみます。
		3	・ 音楽理論テスト・歌唱テスト	・ 音楽1の総括がしっかり出来ているかどうか確認します。
課題提出物等			・ 毎時間、CDやDVDなど5分足らずですが、鑑賞します。その感想は毎回提出し、プリントと共に平常点で評価します。	

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	選
科 目	美術Ⅰ								
使用教科書		美術1（光村図書出版）							
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	基礎を学びながら、美術に対する興味、関心を深め、生きる喜びや自分のよさを感じとり、意欲的に豊かな創造活動に取り組む態度を身につけます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70％、学習活動への参加の仕方や態度を30％として行います。
生徒へのアドバイス	あくまでも生徒が主体です。全員が一同に意欲的に創作活動ができるように、常に実技試験のつもりで授業を進めていきます。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	美術に関心を寄せ、意欲的に学習活動に取り組むことができる。	学習活動への参加の仕方や態度。
芸術的な感受や表現の工夫	題材のテーマを理解しているか。テーマに合った形、色などをよく考えて独自の工夫し表現しているか。	提出作品
創造的な表現の技能	課題に対して感性や想像力を働かせて効果的な表現ができる。	授業への取り組み
鑑賞の能力	一人一人が自己の作品のみならず他人の作品に対しても、良さや美しさを味わい、自己の考えを率直に述べるができる。	鑑賞の態度および発表

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション（美術について） （１）セル画	・美術の授業について理解します。 ・セル（透明板）を裏から彩色することによって色塗りの学習をすると共にアニメーションのしくみを理解します。 ・配色の方法等を学習します。
		5	・下絵制作 ・転写	
	期 末	5	・彩色	
		6		
		7	（２）鑑賞	・仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞します。
2 学期	中 間	9	（３）アートガラス	・黒い画面をひっかく面白さと彩色の美しさを学習します。 ・画面に合う額をデザインします。
		10	・下絵制作 ・転写	
	期 末	10	・切削 ・彩色	
		11	・額製作	
		12	（４）鑑賞	・仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞します。
3 学期	学 年 末	1	（５）パステル画	・パステルの淡い画面を体験し、その技法を理解します。 ・パステルという材料を理解し、配色の勉強をします。
		2	・下絵制作 ・彩色 ・色鉛筆による加筆	
		3	（６）鑑賞	・仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞します。
課題提出物等		・教材を用意。 ・決められた期日までに作品提出。		

教 科	芸術Ⅰ	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	選
科 目	書道Ⅰ								
使用教科書	新編 書道Ⅰ（教育出版）								
副教材等	基本 ペン習字 （教育図書）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。 2 書を楽しむ態度を通して、感性を豊かにし、さまざまな場面に対応する書写能力を高めます。 3 1と2の学習を通して、自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていきます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70%、学習活動への参加の仕方や態度を30%として行います。
生徒へのアドバイス	1 書道の学習においては、まずよく見るのが大切です。自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。 2 技法の習得は主として古典の臨書によりますが、ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚、1字1字について「何が出来るようになったか」を大切にします。1時間の中での進歩、単元を通しての進歩、そして、1年間の学習を通しての進歩が感じとれるような学習への取組を期待します。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・書を愛好し、書の美しさに関心をもち、意欲的、主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・作品ファイルの整理状況 ・小テスト ・創作カード
芸術的な感受や表現の工夫	・感性を豊かにし、古典のよさや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫しているか。	・提出作品 ・ファイルの整理状況 ・創作カード
創造的な表現の技能	・漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書を通して、自己を主体的に表現する能力を伸ばし、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身に付けているか。	・提出作品 ・作品ファイルの整理状況
鑑賞の能力	・書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、そのよさや美しさを深く味わっているか。	・小テスト ・ファイルの整理状況 ・創作カード ・発表

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	書道の学習を始めよう ・姿勢と執筆法 ・用具・用材	姿勢と執筆法，用具について知り，学習の意義とその方法を理解します。 ※「臨書」とは古典を手本として習うことです。
		5	1 漢字仮名交じりの書（1） ・書道に親しむ ・書写からの発展 ・様々な表現	身近な言葉や詩文を題材に漢字と仮名の調和を図り，字形・文字の大きさ等の全体構成を工夫することで自分の意図に基づく表現を試みます。
	期 末	6	2 楷書の学習 ・厳正と温雅 ・重厚と軽快 ・方勢と円勢	漢字の楷書の古典に基づく学習により書の多様な表現の可能性に触れます。 線質の表し方と用筆・運筆の関係を臨書学習により習得します。
		7	・楷書の細字	代表的な楷書の古典を鑑賞し，それぞれの古典について作者や時代背景などの知的理解を経て，基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を臨書学習により習得します。
2 学期	中 間	9	3 行書の学習 ・様々な行書 ・行書の特徴	行書の特徴について理解を深めます。 代表的な楷書の古典を鑑賞し，それぞれの古典について作者や時代背景などの知的理解を経て，各古典の特徴を把握することにより行書の基本的な用筆法を習得します。
		10	・蘭亭序 ・争座位稿	
	期 末	11	・風信帖 ・楷書、行書の創作	楷書又は行書の各古典で習得した技法を生かし，創意工夫をこらして創作します。
		12	8 仮名の書の学習 ・仮名の成立と発達 ・平仮名（いろは歌）	我が国独自の文字である仮名について，成立過程と字源について理解を深めます。 また、仮名の線質を理解します。
3 学期	学 年 末	1	・変体仮名 ・高野切第3種	平仮名を中心とした上代様仮名の筆使いに慣れ，基本的な用筆法や流動美を体験します。
		2	9 漢字仮名交じりの学習（2） ・用具用材の工夫 ・全体構成の工夫	1・2・3学期の漢字及び仮名の古典の学習を基にその表現を応用した漢字仮名交じりの書の創作を行います。 詩文，形式，用具・用材，構成など工夫し漢字と仮名の調和の方法を考え，自分の感性を表現する最良の方法を模索します。
		3	・古名跡の応用	
課題提出物等		1	原則として、毎時間作品を完成させます。	
		2	授業中に完成させた作品をファイルします。	
		3	学期に2回程度実技試験（清書）を行います。	
		4	創作には、創作カードに基づいて行います。	

教 科	外国語	単 位 数	3	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	英語 I								
使用教科書		Viva! English New Edition I （第一学習社）							
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	・英語の楽しさを知り、学びたいと思う意欲を育てます。・日常的な話題について、英語で聞いたり読んだりしたことを理解し、さらに情報や自分の考えを英語で話したり書いたりして伝えられる能力をつけます。 ・場面や目的に応じて、積極的にコミュニケーションを行う態度を育てます。
評 価 方 法	・定期考査 7 割、平常点 3 割を基準にして評価します。 ・平常点の内容は、小テスト・課題や提出物・出欠状況・授業へ取り組む態度などです。
生徒へのアドバイス	語学に大切なのは、地道な努力と積極性です。毎日予習復習を行って欲しい。その時英文を声に出して読むと効果的です。また単語や基本例文を一つでも多く覚えること。単語がわかると楽しくなります。授業中でも後でも、わからないことがあったら遠慮せずに質問してください。ALT が来校したときに、覚えた表現を使って積極的に話しかけると自信がつきます。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・授業に積極的に参加し、理解しようと努めているか。 ・英語でのコミュニケーションを図ろうとしているか。	・ノート整理、提出物 ・読みやペアワークなど授業活動への参加態度
話す・聞く能力	・英語を正確に音読できるか。 ・英語を聞いて相手が伝えたいことを把握できるか。 ・伝えたいことを英語で表現できるか。	・小テスト（音読・リスニング） ・オーラルテスト ・ALT との Team Teaching での理解度
書く能力	・語彙力は身につけているか。 ・学習した表現を用いて英文を書けるか。 ・伝えたいことを英語で表現できるか。	・小テスト（単語） ・課題テスト ・定期考査のライティング問題
読む能力	・語彙力は身につけているか。 ・英文を読んで内容を把握できるか。	・小テスト（単語） ・授業での Q&A ・定期考査のリーディング問題
知識・理解	・言語やその運用についての知識が身につけているか。 ・背景にある文化などを理解しているか。	・授業での Q&A ・レポート ・定期考査の言語運用に関する問題

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	Warm-up Lesson 1 Earth Day! 現在形 (be 動詞・一般動詞)	4 月 22 日の Earth Day を題材に、環境問題について考えます。 [言語活動] 文字・辞書・挨拶
		5	Lesson 2 Email from Nancy 過去形 (be 動詞・一般動詞)	E メールの英文を読み、世界平和について考えます。 [言語活動] e メール of 英語表現
	期 末	6	Lesson 3 Katakana Words 助動詞	留学生が感じたたまどいを通じて、和製英語について学びます。 [言語活動] 和製英語・文化の違い
		7		
	2 学 期	中 間	9	Lesson 4 A New Star from Korea 進行形
10			Lesson 5 Why Chocolate? 不定詞	チョコレートの不思議な効用に関する英文を読みます。 [言語活動] イントネーション
期 末		10	Lesson 6 Matsui and the Boy 動名詞	プロ野球の松井選手と、心臓の手術を受ける少年との交流の物語を読みます。 [言語活動] Body Language
		11		
		12	Lesson 7 “Zawawa” 受身	「さとうきび畑」という歌の誕生秘話を読み、平和について考えます。 [言語活動] 長文読解
3 学 期	学 年 末	1	Lesson 8 Ambassador Against Hunger 現在完了	「飢餓撲滅大使」として活躍する人の活動を通して、飢餓問題を考えます。 [言語活動] ペアワークで Q&A
		2	Lesson 9 What Can We Do? It is ...to ～	募金活動をしてイラクの子供にサッカーボールを送った高校生の活躍を読み、ボランティアについて考えます。 [言語活動] 英語のリズム (2)
		3		
課題提出物等		・入学時の課題提出 ・授業の進度に応じ、予習・復習プリントやレポートなどの提出 ・ノート提出 ・長期休業中の課題提出 ・読み、暗誦、単語等の小テスト		

教 科	家 庭	単位 数	2	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 選	全
科 目	家庭総合								
使用教科書		家庭総合 生活に豊かさをもとめて（第一学習社）							
副 教 材 等		家庭総合学習ノート（第一学習社）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	人の一生と家族、高齢者の生活と福祉、衣生活、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。さらに習得したことが、日常生活で応用出来るようになることを目標とします。
評 価 方 法	・定期考査（1・2学期は期末考査）・・・・・・・・・・50～60％ ・定期考査（3学期は授業内の実技テストと練習布）・・・・50％ ・実習（被服製作）・プリント・ノート・授業態度・意欲・・40～50％ ・定期考査と実習・プリント・ノート提出・授業態度を総合して評価します。 ・実技を伴う教科ですので、授業や実習へ取り組む態度を大切にします。
生徒へのアドバイス	・講義、実習など様々な形態の学習活動を行いますので、積極的に授業に取り組むとともに、毎時間の授業を大切にしてください。 ・学校での学習が日常生活に活かせるようにすることが大切です。 ・被服作品やプリント、ノートの提出物は、完成を目指して期限までに提出して下さい。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいるか。 ・実践的な態度を身につけているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業の中で使用するプリント ・授業ノート（学習・板書ノート） ・被服製作の作品
思考・判断	・家庭や地域生活について見直し、課題を見つけられるか。 ・課題の解決を目指し、適切に判断できる力を身につけているか。	・授業で使用するプリント ・授業中の意見や考えの発表内容や仕方 ・定期考査の記述問題の内容
資料活用 の技 能・表現	・家庭や地域社会を充実、向上させるために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。	・授業の中で使用するプリント ・授業中の発表の内容や仕方 ・定期考査の記述問題の内容 ・被服製作の作品
知識・理解	・家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域生活を充実、向上させるために必要な基礎的・基本的な知識を身につけているか。	・定期考査 ・実技テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	「家庭総合」の学習について 第1章 共に生きる 人に一生と家族・家庭 (1) 私たちの生涯と発達課題	家庭総合の授業の目標、内容や進め方、 評価方法について確認します。 各ライフステージの課題について考え、 将来の生活への展望を持ち、青年期をどの ように生きたらよいかを考えます。 また、自分自身の生活設計を家族や社会 とかかわりながら、また、男女が相互に協 力し合うことや社会の一員として、考えら れるようにします。 高齢期や高齢期の生活、子どもや子ども を取り巻く環境等について、現状や課題を 認識し、高齢者・児童福祉の理念を理解し、 異世代と交流しながら異世代から学び、全 ての人と共生していくようにします。
		5	(2) 家族・家庭と社会	
	期 末	5	(3) 私たちの将来設計	
		6	第3章 豊かな生涯へ 高齢社会と福祉 (1) 高齢社会の進展と今後の展望 (2) 高齢者の生活と福祉	
		7	(3) 高齢者の自立と介護	
2 学期	中 間	9	第4章 消費を考える 消費生活と資源・環境 (1) 私たちの暮らしと経済 (2) 消費者の権利と経済 (3) 消費生活と資源・環境	家庭の経済生活を理解しながら、現代の 消費生活の課題について認識し、消費者と いての自立を目指します。そのために意識 決定の大切さや消費行動が環境に与える 影響等を考え、環境に配慮した生徒自身の ライフスタイルが築けるようにします。 人間の生活を支える「衣」を先人の知恵 と科学・文化の視点からとらえ、さらに実 践・実習を通して広く学び、充実した生活 が送れるようにします。 また、生活と環境との関わりを考え日々 の生活で実践できるようにします。 衣生活の管理、特に日常着の洗濯や保管 ができるように学習します。 被服製作では、日常生活で応用できるよ うにまつり縫い・ボタンつけ・ミシン縫い を習得し、活用できるようにします。 さらに、二年生の調理実習で使用するた めのエプロンを製作し、基礎縫いの成果を 確認します。 また、作品が完成し授業で学んだ知識・ 技術の最終成果として、実技テストを実施 し、理解できていない箇所を自分でも確認 することで、確実に習得できるようにしま す。
		10	第6章 装う 衣生活の科学と文化 (1) 人と衣生活 (2) 被服材料	
	期 末	11	(3) 被服の選択と管理 (5) 被服製作 基礎縫い（まつり縫い・ボタンつけ）	
		12	基礎縫い（スナップ・カギホックつけ）	
3 学期	学 年 末	1	基礎縫い（ミシン縫い） エプロンの製作	
		2	エプロンの製作・提出 実技テストの練習	
		3	実技テスト （まつり縫い・ボタンつけ・ミシン縫い）	
課題提出物等				
・ 授業ノート（学習・板書ノート）・プリント・製作物の提出物。 ・ 基礎縫い練習布・被服製作（エプロン）などの被服実習代として 1,500 円徴収させていただきます。 ・ いずれも完成させて期日までに提出することを目指し、全員が取り組んでいきます。				

教 科	情報	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	情報A								
使用教科書		高等学校 三訂版 情報 A（第一学習社）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	・様々な方法で問題解決ができるようにします。 ・情報化社会にふさわしいモラルを身につけます。 ・コンピュータやネットワークを利用して適切に情報収集、処理、発信ができる技能を修得します。
評 価 方 法	各学期とも ・ 定期考査50％、 ・ 課題および発表40％、 ・ 授業への参加態度10％ でおこないます。
生徒へのアドバイス	この授業はコンピュータの操作を覚えることが目的ではないので、背景や考え方を理解しましょう。 授業時間の前部5分から10分程度をソフトウェア自習の時間とします。その時間を有効に使ってスキルアップを図りましょう。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
意欲・態度	・授業を真剣に受けているか。 ・教材をきちんと用意しているか。 ・積極的に発言、発表できたか。	毎回の授業で確認する。
思考・判断	・目的に応じた適切な手段や方法を用いることができるか。	・定期考査 ・課題の作成過程で評価する ・提出された課題で評価する
技能・表現	・各種のソフトウェアが適切に使用できているか。 ・目的に応じたソフトウェアが使用できるか。 ・必要な技能が身に付いているか	・課題の製作過程で評価する ・提出された課題で評価する ・自己評価および相互評価をする ・タイピング練習ソフトで評価する
知識・理解	・問題解決、情報収集・発信のための基礎的な知識を身につけているか。	・定期考査 ・授業中の小テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	PC室の使い方、個人ごとのコンピュータ設定 基本的なソフトの使い方 序章	これから使っていくコンピュータの使用方法を学び、個人ごとの設定を行います。
		5	第1章情報を活用するための工夫と情報機器 第1節 問題解決の工夫	情報収集の方法やスプレッドシートの利用を学び、問題解決にどのようにコンピュータを利用するか学びます。
	期 末	5	第2節 情報伝達の工夫 「企画書」の作成と発表	ワードプロセッサの利用を通じて、文書を使って情報を効率よく伝達する方法を学びます。 文字情報だけでなく、表やグラフ、画像を付け加えることによってより表現が豊かになることを学びます。
		6		
		7		
	2 学期	中 間	9	第2章情報の収集・発信と情報機器の活用 第1節 インターネット
10			第2節 ウェブページの仕組み 情報の検索 情報の発信	検索エンジンの使い方を勉強します。 自分のウェブページを作り、情報の発信の仕方を学びます。
期 末		10	第3節 情報の収集・発信における問題点	ネットワーク上の情報の特性を学びます。 著作権や肖像権について勉強します。
		11	第3章情報の統合的な処理 とコンピュータの活用 第1節多様な情報の統合 第2節コンピュータを利用した プレゼンテーション	デジタル化する意味を理解します。 画像を取り扱います。 音や動画など、情報を統合して扱う方法を学びます。
		12		
3 学期	学 年 末	1	プレゼンテーションソフトの利用 「クラブ紹介」を発表	プレゼンテーションソフトの特性と使い方を学び、発表します。
		2	第4章情報機器の発達と生活の変化 第1節 情報機器の発達と仕組み 第2節 情報化の進展と生活の変化	情報機器の仕組みについて学びます。
		3	第3節 情報社会への参加と 情報技術の活用	テクノストレス、デジタルデバイド等情報化社会の影の部分について学びます。
課題提出物等		・ 項目ごとに作品(を提出します。提出方法はその作品ごとにサーバへのアップロードであったり、電子メールへの添付だったりさまざまです。 ・ 公開する作品については、クラスメイトの作品と自分を評価した評価シート。 ・ 著作権と肖像権に関しては授業中にアンケートや小テストを行います。 ・ 定期考査前後にタイピング練習ソフトのテストを行います。		

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	体育理論								
使用教科書	現代保健体育（大修館）								
副 教 材 等	なし								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	体育・スポーツの意義やすばらしさを理解するとともに、運動技能や体力を合理的に向上させるための科学的知識や方法を習得します。
評 価 方 法	定期考査と、提出物や出席等の平常点を加味して評価します。
生徒へのアドバイス	授業での知識等を理解し実践できるようにすることはもちろん、新聞やテレビ等のスポーツの大会や報道に接するなど、日常から体育・スポーツに関心を持って生活してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	社会の変化とスポーツ運動技能の構造と運動の学び方に関心を持ち、生涯にわたって運動にかかわっていこうと意欲的に学習に取り組む	授業への参加意欲の観察 提出物の読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	社会の変化とスポーツ運動技能の構造と運動の学び方について意義や学び方を考え生涯にわたって実践しようと考え、工夫している	授業への参加意欲の観察 提出物の読み取り テスト
知識・理解	社会の変化とスポーツ運動技能の構造と運動の学び方について理解するとともに、スポーツの必要性や体づくり運動実践の効果等を理解し知識を身に付ける	授業での態度の観察 提出物の読み取り テスト

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	社会の変化とスポーツ ①現代生活とスポーツ ②競技スポーツの意義	多様化する現代生活とスポーツ、競技スポーツの現状とその意義について理解します。
		5	③スポーツの社会的役割	スポーツの経済効果やオリンピックに代表される国際交流としての役割について理解します。
	期末	5	④スポーツのはじまりと変遷	スポーツのルーツについて理解します。
		6	⑤スポーツと国際社会 ⑥ライフステージとスポーツ	民族の生活とスポーツ等について理解します。 ライフステージの意味とレジャー時代について理解します。
		7	評価	期末考査
2 学期	中間	9	⑦文化としてのスポーツとかかわり方 ⑧地域におけるスポーツライフ	スポーツの文化的意義を理解します。 地域社会におけるスポーツの意義を理解します。
		10	⑨ライフスタイルとスポーツ	豊かなライフスタイルを構築するためのスポーツの役割を理解します。
	期末	10	運動技能の構造と運動の学び方 ①運動技能のしくみとそのとらえ方	運動技能のしくみについて理解します。
		11	②運動技能の上達	運動技能の上達する過程について理解します。
		12	評価	期末考査
3 学期	学 年 末	1	③運動技能を高める練習のしかた	運動技能を高めるためのポイントについて理解します。
		2	④運動の計画的な学び方	運動の特性と学び方について理解します。
		3	評価	学年末考査
課題提出物等	各種レポート			

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	体づくり								
使用教科書	なし								
副 教 材 等	ビジュアルスポーツ（大修館）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	体づくり運動の特性を理解し、体ほぐしをしたり体力を高めたりするとともに、自己の体力や生活に応じた体づくり運動を構成し、活用することができる資質や能力を育みます。
評 価 方 法	出席・参加態度やプログラミングと実践などを加味して評価します。
生徒へのアドバイス	体づくり運動のねらいを自覚し、自ら積極的に授業に取り組んで下さい。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	自己やグループの能力と運動の特 性に応じた課題解決を目指し、工夫 している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的 な行い方を身に付ける	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、 体ほぐしの意義等の基礎的な事項 を理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	オリエンテーション ストレッチ運動	年間計画を理解します。 ストレッチ法の種類を理解します。
		5	ストレッチ運動	静的ストレッチの正しい方法を理解します。 動的ストレッチの正しい方法を理解します。
	期末	5	ストレッチ運動 協力運動	目的にあわせたストレッチを選択できるように します。 ペアストレッチを行います。
		6	協力運動	2人以上で行う運動を中心に学びます。
		7	評価	実技試験等を行い、評価します。
2 学期	中間	9	協力運動	目的にあわせた協力運動を選択できるようにし ます。
		10	リズム運動	リズムカルな運動の効果を理解します。
	期末	10	リズム運動	
		11	リズム運動 体力を高める運動	・スタミナづくりだけでなく健康を維持増進させ るためにも必要であることを理解します。
		12	評価	実技試験
3 学期	学年末	1	体力を高める運動	・持久走を行うことにより全身持久力を高めま す。
		2	体力を高める運動	・多くの運動を短い時間に数多くこなすことによ り、体力が付くことを実感します。
		3	評価	実技試験
課題提出物等				

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	スポーツ I								
使用教科書	なし								
副 教 材 等	ビジュアルスポーツ（大修館）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	採点競技及び測定競技の特性について理解させ、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技ができる能力と態度を身につけます。
評 価 方 法	実技試験および授業への取り組み方、レポート等の課題により評価します。
生徒へのアドバイス	・しっかりとした服装で、積極的に授業に参加します。 ・行動を機敏にし、安全に配慮します。 ・仲間との交流を深め自己表現能力を高めてください。 ・遅刻・欠席・見学はできるだけ避けてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 レポート
思考・判断	自己の能力に合わせた課題を設定し、運動の特性に応じ、工夫して課題解決を目指している	授業への参加意欲の観察 口頭による試問
技能	運動技能を高めている 技能や体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける	授業での態度の観察 実技試験等の結果分析
知識・理解	運動技能の構造や運動の学び方および各競技方法等、基礎的な事項を理解し知識を身に付ける	授業での態度の観察 競技会や発表会での態度の観察 口頭による試問

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション 陸上競技（短距離）	年間計画を理解します。 記録会やスポーツテストから自己の能力を知ります。
		5	陸上競技（短距離）	短距離走の特性を理解します。 フォームを見直し、短距離走の記録を高めます。
	期 末	5	陸上競技（短距離）	記録を高めるための様々な練習を行います。 目的にあった練習方法を設定できるようにします。
		6	陸上競技（短距離） 水泳	短距離走の競技会を行い、評価します。 試しの記録会を行います。 水泳の特性を理解します。
		7	水泳	各泳法を身につけ、記録を向上させます。
2 学期	中 間	9	水泳	競技会を行い、評価します。
		10	器械運動	自己の能力を知り、基本技を身につけます。 器械運動（マット）の特性を理解します。
	期 末	10	器械運動	マット運動の基本技を連続して行えるようにします。 自己の能力にあった種目を選択し、練習します。
		11	器械運動	発表会を行い、評価します。また、他の人の演技を評価できるようにします。
		12	陸上競技（中・長距離）	試しの記録会を行い、自己の能力を知ります。
3 学期	学 年 末	1	陸上競技（中・長距離）	陸上競技（中・長距離走）の特性を理解します。 自己の能力にあった練習を行えるようにします。
		2	陸上競技（中・長距離）	自己の能力にあったペースで走れるようにします。
		3	陸上競技（中・長距離）	競技会を行い、評価します。
課題提出物等	体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	体育	単位 数	2	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	スポーツⅡ								
使用教科書		なし							
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てます。
評 価 方 法	学期に実施した各種目毎に評価し、それに授業態度や取り組み（服装等）、出席状況等を加味して成績を出します。
生徒へのアドバイス	授業への参加が第一であるので、欠席・遅刻・見学を極力なくしてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 レポート
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性 に応じた課題解決を目指し、工夫して いる	授業への参加意欲の観察 口頭による試問
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な 行い方を身に付ける	授業での態度の観察 実技試験等の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、 体ほぐしの意義等の基礎的な事項を 理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 ゲームでの態度の観察 口頭による試問

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション バスケットボール	年間の概略や取り組み方等を理解し、集団としての秩序を保てるようにします。
		5	バスケットボール	ボールに慣れ、ボールハンドリングの技能を高めます。
	期 末	5	バスケットボール	速攻やセットオフENSEの戦術を習得します。
		6	バスケットボール	マンツーマンやゾーンの戦術を習得します。 戦術を考えてゲームができるようにします。
		7	評価	実技試験を行い、評価します。
2 学期	中 間	9	ソフトボール	キャッチボールの技能を高めます。 守備の能力を高めます。
		10	ソフトボール	バッティングの技能を高めます。 走塁で正しい判断ができるようにします。
	期 末	10	ソフトボール	ゲームができるようにします。
		11	ソフトボール ゲーム・評価 サッカー 各種パス・キック	戦術を考えてゲームができるようにします。 実技試験を行い、評価します。 各種のパスやキックの技能を高めます。
		12	評価	実技試験を行い、評価します。
3 学期	学 年 末	1	サッカー	ドリブルの技能を高めます。 ゲームができるようにします。
		2	サッカー	戦術を考えてゲームができるようにします。
		3	評価	実技試験を行い、評価します。
課題提出物等	体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	選
科 目	スポーツⅢ（柔道）								
使用教科書	なし								
副 教 材 等	ビジュアルスポーツ（大修館）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	武道の特性について理解させ、高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して試合ができる能力や態度を育てます。
評 価 方 法	実技を評価し、それに出席・授業態度等を加味して成績を出します。
生徒へのアドバイス	欠席・遅刻・見学をせず授業に積極的に参加し、新しい技の習得に興味を持ち、自主的に練習ができるようにしてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	自己やグループの能力と運動の特性 に応じた課題解決を目指し、工夫して いる	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な 行い方を身に付ける	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、 体ほぐしの意義等の基礎的な事項を 理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション（歴史、目的） 礼法、柔道着の着方、畳み方	歴史目的、年間の概略を理解します 礼法、柔道着の着方、畳み方等を習得します。
		5	基本動作 基礎体力づくり	柔道での合理的動きを身につけます。 柔道に必要な体力をつけます。
	期 末	5	受け身 体さばき	各種受け身を身につけます。 体さばきを習得します。
		6	対人技能 組み方 崩し	組み方、崩し等を習得します。
		7	評価	実技試験
2 学期	中 間	9	受け身 投げ技 体落とし	各種受け身を習得します。 体落としを習得します。
		10	投げ技 釣り込み腰 払い腰	釣り込み腰、払い腰等を習得します。
	期 末	10	打ち込み 約束練習	既習技で打ち込みを実施します。 既習技で約束練習をします。
		11	固め技 袈裟固め 横四方固め	袈裟固め、横四方固め等を習得します。
		12	評価	実技試験
3 学期	学 年 末	1	連絡変化 打ち込み	連絡変化を身につけます。 打ち込みで既習技を身につけます。
		2	乱取り	乱取りの中で既習技を使えるように します。
		3	評価	実技試験
課題 提出物等	各種レポート			

教 科	体育	単位 数	1	学 科	健康スポ ーツ科	学 年	1	全 ／ 選	選
科 目	スポーツⅢ（剣道）								
使用教科書		なし							
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	武道の特性について理解させ、高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して試合ができる能力や態度を育てます。
評 価 方 法	実技を評価し、それに出席・授業態度等を加味して成績を出します。
生徒へのアドバイス	欠席・遅刻・見学をせず授業に積極的に参加し、新しい技の習得に興味を持ち、自主的に練習ができるようにしてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	自己やグループの能力と運動の特性 に応じた課題解決を目指し、工夫して いる	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な 行い方を身に付ける	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、 体ほぐしの意義等の基礎的な事項を 理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション（歴史、目的） 礼法、体さばき	歴史、目的、1年間の概略等を理解します。 礼法、体さばきを習得します。
		5	踏み込み 構え	踏み込み、構え等を習得します。
	期 末	5	素振り	素振りを習得します。
		6	基本動作 小手・面・胴	小手・面・胴の正しい打突を習得します。
		7	評価	実技試験
2 学期	中 間	9	基本動作 打ち返し	打ち返しを習得します。
		10	二段打ち	面→面、小手→面、小手→面等を習得します。
	期 末	10	二・三段打ち 払い技	小手→胴、小手→面→胴を習得します。 払い面、払い小手等を習得します。
		11	約束練習	約束練習することによって、既習の技を磨きます。
		12	評価	実技試験
3 学期	学 年 末	1	互角練習 引き技	試合形式で練習をします。 引き小手、引き面、引き胴等を習得します。
		2	出ばな技 体当たり技	出ばな面、出小手等を習得します。
		3	評価	実技試験
課題提出物等	各種レポート			

教 科	体育		単位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	野外活動（キャンプ実習）									
使用教科書		なし								
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	自然とのかかわりの深い野外の運動の特性について理解し、その知識と技能を習得できるようにするとともに、自然の中での行動の仕方を身につけ、自然に親しむことができる資質や能力を育てます。
評 価 方 法	実習の態度・取り組みやレポート等を考慮して成績を出します。
生徒へのアドバイス	キャンプ実習はもちろん、普段の授業も欠席せず、積極的に取り組んでください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業・実習への参加意欲の観察 しおり、発表
思 考 ・ 判 断	自己やグループの能力と運動の特性 に応じた課題解決を目指し、工夫して いる	授業・実習への参加意欲の観察 しおり、発表
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な 行い方を身に付ける	授業・実習での態度や行動の観察
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、 体ほぐしの意義等の基礎的な事項を 理解し、知識を身に付ける	授業・実習での態度の観察 しおり、発表

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション 各キャンプ委員（係）の役割	キャンプ実習の概略を知理解します。 キャンプ実習での役割等を理解します。
		5	各キャンプ委員の選出 係や組織の決定 しおりの作成	実習の各係を選出します。 係や組織を決定します。 キャンプ実習のしおりを作成します。
	期 末	5	登山での歩き方	キャンプ実習での登山に備えて、歩き方やマナー等を理解します。
		6	登山における注意事項の確認 キャンプ実習の行程の確認	山での注意事項を確認します。 キャンプ実習の行程を確認し、目的を理解します。
		7	キャンプ実習の準備	キャンプ実習の最終確認をし、安全に、しかもスムーズに実施できるようにします。
2 学期	中 間	9	キャンプ実習 キャンプ実習反省 しおりのまとめ・提出	実習に参加します。 実習をしおりによって反省し、まとめたものを提出します。
		10	キャンプ実習反省 係・組織・各班	各係や組織、班ごとの反省をします。
	期 末	10	キャンプ実習反省 係・組織・各班	各係や組織、班ごとの反省をします。
		11	発表準備	実習の反省等を班ごとにまとめ、発表の準備をします。
		12	班ごとの発表	各班や係毎に反省を発表します。
3 学 年 末 期	学 年 末	1	山の地形や気象について	山の地形や気象について理解します。
		2	登山の計画の作成	実際に登山の計画を立て、発表します。
		3	1年間のまとめ 評価	1年間の授業をまとめる 1年間を評価します。
課題提出物等		しおり、発表		